

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会的養護内容	演習	1	山川 宏和

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:児童福祉施設及び家庭的養護におけるケアの実際から、保育士に求められる援助技術とは何かを学ぶ。
 到達目標:社会的養護経験児の経済的自立について説明できる。グループワークを通じて、子どもへの対応方法を学んで、記録する。保育士に必要な記録の3形式に沿って、文章を書き分けることができる。

【授業の概要】

1. テキストを基に、各回のテーマについて講義し、グループワークを中心とした演習を行う。
2. 必要に応じてDVDなどの映像素材を使用する。
3. グループワークを基礎にしたポスターを作成して、成果を発表する。

【全体の授業計画・内容】

1. 社会的養護のアフターケアについて 大学進学
 事前学修課題:社会的養護論の学びを振り返る(0.5時間)。
 事後学修課題:冠婚葬祭の儀礼について調べる(0.5時間)。
2. 社会的養護児童の自立について(1) 児童と自立援助ホーム
 事前学修課題:家計簿、各種の社会保険について調べる(0.5時間)。
 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
3. 社会的養護児童の自立について(2) 退所者と自立援助ホーム
 事前学修課題:ブリッジ・フォー・スマイルの活動を知る(0.5時間)。
 事後学修課題:社会的養護自立支援事業について調べる(0.5時間)。
4. 記録について(1)ジェノグラム
 事前学修課題:これまでの実習記録を参照する(0.5時間)。
 事後学修課題:ジェノグラムを作成する(0.5時間)。
5. 記録について(2)エコマップ
 事前学修課題:これまでの実習記録を参照する(0.5時間)。
 事後学修課題:エコマップを作成する(0.5時間)。
6. 社会的養護の実践(1) 乳児院のアドミッションケア
 事前学修課題:乳児期の遊び、所持品について振り返る(0.5時間)。
 事後学修課題:子ども時代に自分が大切にしていたものについて調べる(0.5時間)。
7. 社会的養護の実践(2) 児童養護施設のアドミッションケア
 事前学修課題:自立支援計画の部分を読んでおく(0.5時間)。
 事後学修課題:自立支援計画を作成する(0.5時間)。
8. 新たな社会的養育ビジョンと社会的養護
 事前学修課題:社会的養育ビジョンを参照しておく(0.5時間)。
 事後学修課題:特徴的な乳児院の活動を調べる(0.5時間)。
9. 社会的養護の実践(3) リービングケア PCIT トリプルP
 事前学修課題:テキスト第8章を参照しておく(0.5時間)。

事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
10. 社会的養護の実践(4) アフターケア グループワークの各課題への参加 事前学修課題:自立支援コーディネーターについて調べる(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
11. 社会的養護のグループワーク(1) ポスターづくりの準備 事前学修課題:グループワークの活動をまとめておく(0.5時間)。 事後学修課題:配布した資料を参照する(0.5時間)。
12. 社会的養護のグループワーク(2) ポスター製作 事前学修課題:ポスター作りに必要なものを考え持参する(0.5時間)。 事後学修課題:ポスター作製を仕上げる(0.5時間)。
13. 社会的養護のグループワーク(3) ポスターセッション 事前学修課題:ポスター発表の原稿を作成する(0.5時間)。 事後学修課題:寄せられた意見をまとめる(0.5時間)。
14. 特別養子縁組制度について 事前学修課題:養子縁組に関するニュースを読んでおく(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:これまでの学びを振り返る(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
【学習のあり方】 予習のあり方: テキストの該当箇所を読んでおく 学習のあり方: DVD 素材の内容等もメモをとる 復習のあり方: 返却されるワークシートを復習する
【成績評価】 平常試験(50%)、提出物(30%)、小テスト(20%)
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 提出されるワークシートに採点し、コメントを記入して返却する。
【テキスト】 安藤和彦、石田慎二、山川宏和編「社会的養護内容演習」、建帛社
【参考文献】 授業中に提示する
【実務経験の有無】 なし